



最後の夜、外国人医師らと記念写真に写る医学会参加者



外国人医師ら医学会参加者を中心として川島会長が老舗の筑紫亭に招き、和室ムードと味を満喫させた



会場(グランプラザ中津ホテル)で出席者を英語で紹介する主催者の川島会長

アジア太平洋  
潜水・高気圧環境医学会  
主催者  
川島理事長

2年毎アジア各地で開催  
切磋琢磨して医療向上

学会を中津にて開催

した。この学会はもともと中国から発足し2年毎にアジア各地で開催されている学会である。この地域における潜水・高気圧医学の研究を発表し、お互いに切磋琢磨して医療や研究水準の

25・10月  
日に渡つて第4回  
アジア太平洋  
潜水・高  
気圧環境医

アジアはじめ米国・欧州など 医師中津に勢揃い



外国人医師が深い関心を持った  
神楽の舞

向上を目指すために始まった。

中国高気圧環境医学会

員数3万5千人、高

感銘受けた「宇宙医学の課題」

元JAXA筑波宇宙センター 嶋田氏の特別講演

気圧酸素治療装置5千5百機を持つ創設者の高春錦会長も出席された。出席者はいずれも世界各地から来日されたこの医学関連学会の重鎮の方々に、今回私が主催者ということもあ

り中国のみならず、台湾、韓国、インド、米国、スウェーデン、アルゼンチンからの代表が中津で一堂に会したことは大変光栄なことであり感謝に堪えない。私たちと共同で20年間、羊5百頭を使って潜水病と骨壊死の作製に成功し予防法についての研究を続けているウイスコンシン大学のソバキン博士やまたアメリカの国際潜水・高気圧環境医学会理事長・ジョン・ピーター氏も出席された。

開催前日は会長招請のレセプションが中津の歴史ある筑紫亭で行われ江戸時代から伝わる人形浄瑠璃や中島勝己先生による横笛の演奏を楽しんでもらった。このような伝統的な音楽や芸能を披露することは国際学会では大事なことであり、皆さんは大変喜ばれ感動してくれました。

翌日の招請講演は日本高気圧環境・潜水医学会代表理事の柳下和慶准教授(東京医科歯科大学)の「スポーツ医学における高気圧酸素の応用」が発表された。また会長講演やヨーロッパ元会長フオーク・リンド教授による「神経内科領域における脳内感染症に対する高気圧酸素の応用」などが講演された。その他にランチョンセミナーとして国際潜水・高気圧環境医学会理事長ジョン・ピーターによる「国際的な酸素治療における動向」。

2日目の特別講演としては元JAXA筑波宇宙センターからは嶋田和人先生による「月・火星をめざして宇宙医学の課題」という講演があり大きな感銘を受けました。

(川島整形外科病院・理事長記)



レセプションは奥塚中津市長をはじめ日本人の関係者らも招いた